

## 《講師の紹介》

**中山 徹（なかやま とおる）** 大阪自治体問題研究所理事長  
奈良女大学大学院人間文化研究科教授（工学博士、一級建築士）（生活環境学部：都市計画学、地域居住学）

略歴 1959年生まれ 1989年9月：京都大学大学院工学研究科博士課程修了、1996年4月～2002年3月：奈良女子大学生活環境学部助教授、2010年4月～現在：奈良女子大学大学院人間文化研究科教授

社会貢献 奈良県建築士審査会委員(2004年度～)、奈良県産業教育審議会長（2010年度～）、奈良県産業教育振興会副会長（2010年度～）、(社)大阪自治体問題研究所副理事長（1991年度～2001年度：理事、2002年度～2014年：副理事長：2014年度～：理事長）、(社)日本建築士会大阪支部教育委員（1996年度～）、新建築家技術者集団大阪支部幹事（1991年度～）、自治体問題研究所理事（2002年度～）、保育行財政研究会代表（1998年度～）、  
著書 「人口減少時代のまちづくり—21世紀=縮小型都市計画のすすめ」（現代自治選書）2010年8月。「大阪維新改革を問う」せせらぎ出版、2011年1月、第3章。「大阪大都市圏の再生」自治体研究社、2011年7月、第3章。「橋下『大阪維新』と国・自治体のかたち」自治体研究社、2012年9月、第3章。「雇用・くらし教育再生の道 大阪都構想・カジノからの転換」（編者）自治体研究社、2014年12月。「大阪市解体 それでいいのですか」自治体研究社、2015年3月、第4,5章。「大阪の都市政策を問う」自治体研究社、2015年9月、第6章。他多数

**古儀君男（こぎ きみお）** 日本科学者会議京都支部、元高等学校教諭

略歴 1951年生まれ。元京都府立高等学校教諭。金沢大学大学院理学研究科修士課程修了。専攻は地質学、火山学。ここ10数年、世界各地の地質名所を訪ね歩き、市民を対象に講演会を行うなど、「地学」の普及につとめる。現在、「京都民報」に「火山と原発のはなし」を連載中。

著書 『火山と原発～最悪のシナリオを考える』（岩波ブックレット、2015年）、『地球ウォッチング～地球の成り立ち見て歩き』（新日本出版社、2013年）、『写真で見る京都自然紀行』（共著、ナカニシヤ出版、2010年）、『新・京都自然紀行』（共著、人文書院、1999年）など